香川県内経済情勢報告

令　和　４　年　１　０　月

財 務 省 四 国 財 務 局

香川県内経済情勢報告

	令和4年7月判断	4月判断との比較	令和4年10月判断	7月判断との比較	総括判断の要点
総括判断	持ち直しつつある （２期ぶり上方修正）	↗	持ち直しつつある （据え置き）	→	個人消費は、家電大型専門店、ホームセンターが弱含んでいるものの、百貨店・スーパーに底堅さがみられ、コンビニエンスストア、観光等が緩やかに持ち直していることから、全体としては持ち直しつつある。 生産活動は、汎用・生産用機械が緩やかに持ち直している中、輸送機械が横ばいの状況にあるほか、電気機械が弱含んでいることから、全体としては持ち直しのテンポが緩やかになっている。 雇用情勢は、緩やかに持ち直している。

〔先行き〕
先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。
ただし、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

項目	令和4年7月判断	4月判断との比較	令和4年10月判断	7月判断との比較
個人消費	持ち直しつつある	↗	持ち直しつつある	→
生産活動	持ち直しのテンポが緩やかになっている	→	持ち直しのテンポが緩やかになっている	→
雇用情勢	持ち直しつつある	→	緩やかに持ち直している	↗
公共事業	前年度を下回っている	→	前年度を下回っている	→
住宅建設	前年を下回っている	→	前年を下回っている	→
設備投資	4年度は前年度を上回る見込み	→	4年度は前年度を上回る見込み	→

※　４年１０月判断は、前回７月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費

<u>個人消費</u>
持ち直しつつある

（据え置き）

○百貨店・スーパーは、衣料品や身の回り品が持ち直しつつあるほか、飲食料品が底堅いことから、全体としては底堅いものとなっている。

○コンビニエンスストアは、ソフトドリンクや米飯類等に動きがみられることから、全体としては緩やかに持ち直している。

〔主なヒアリング結果〕

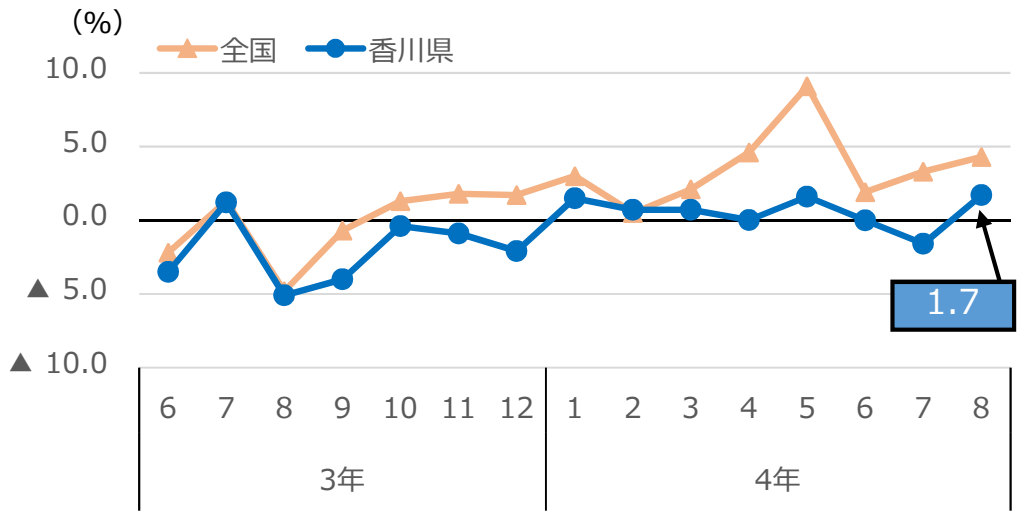
«百貨店・スーパー»
○外出機会の増加によって、衣料品やハンドバッグ等の動きがよくなっている。

○飲食料品は、生鮮食品を中心に価格上昇の影響による買い控えがみられるものの、引き続き総菜や冷凍食品の動きはよい。

«コンビニエンスストア»
○来店客数が回復しているほか、外出機会の増加によりペットボトル飲料やおにぎり等の動きがよくなっている。

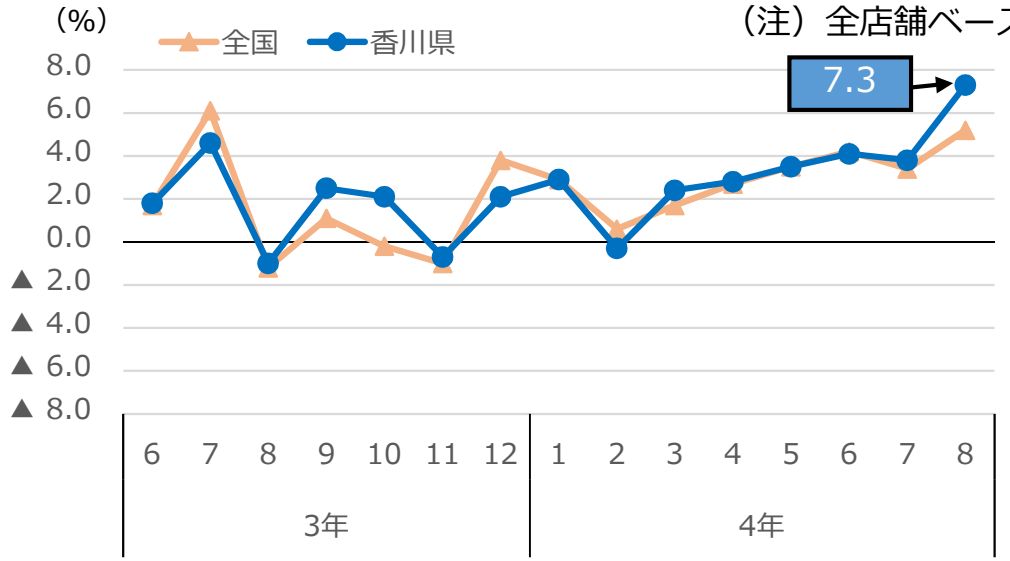
○天候がよく気温の高い日が多かったことから、冷たい麺類やアイスクリームの売上が好調だった。

〔百貨店･スーパー販売額（前年同月比）〕　（注）全店舗ベース



〔コンビニエンスストア販売額（前年同月比）〕

（注）全店舗ベース



【出所】経済産業省、四国経済産業局

個人消費

○ドラッグストアは、日焼け止め等の季節商品や医薬品等に動きがみられることから、全体としては順調となっている。

○家電大型専門店は、省エネ性能の高い冷蔵庫等に動きがみられるものの、テレビやDVDレコーダー等の動きが鈍いことから、全体としては弱含んでいる。

○ホームセンターは、園芸用品やレジャー用品に動きがみられるものの、日用品等の動きが鈍いことから、全体としては弱含んでいる。

○乗用車の新車登録・届出台数は、小型車は前年を下回っているものの、普通車及び軽乗用車は前年を上回っており、全体としても前年を上回っている。

○観光は、個人客が増加しているほか、団体客にも動きがみられることから、緩やかに持ち直している。

○海外旅行は低調となっているものの、国内旅行は各種支援策の効果などから緩やかに持ち直している。

〔主なヒアリング結果〕

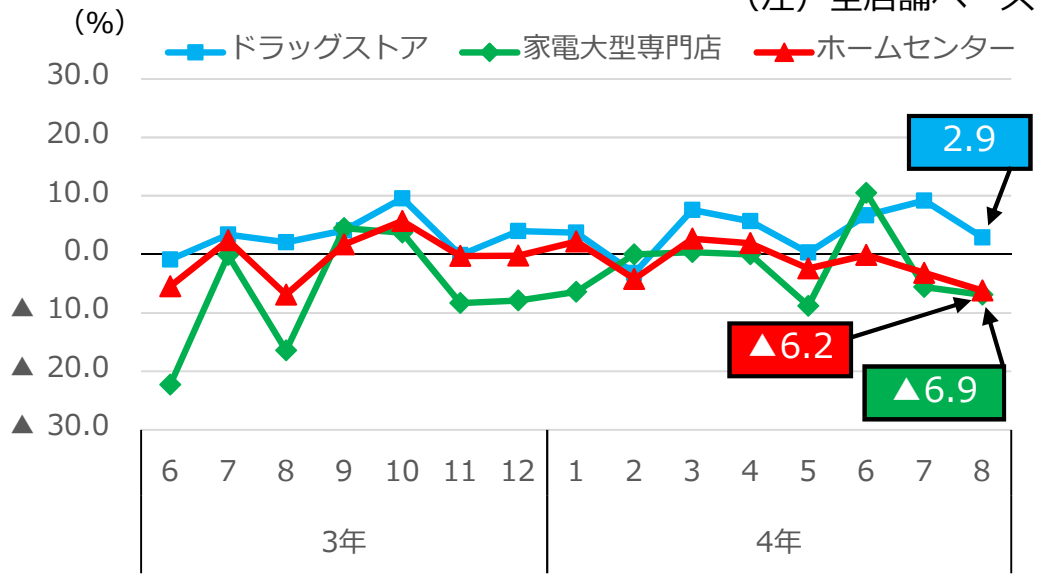
«家電大型専門店»
○オリンピック需要の反動や、インターネットで各種コンテンツを視聴する顧客層の拡大によって、テレビやDVDレコーダーの動きが鈍くなっている。

«観光»
○行動制限がないこともあって個人客が増加しているほか、バスツアーでの利用客も少しずつ増加している。

«旅行»
○第7波の感染拡大時には回復のペースが鈍化したが、以前の自粛ムードのような影響はない。県民割も利用されており、予約状況は好調である。

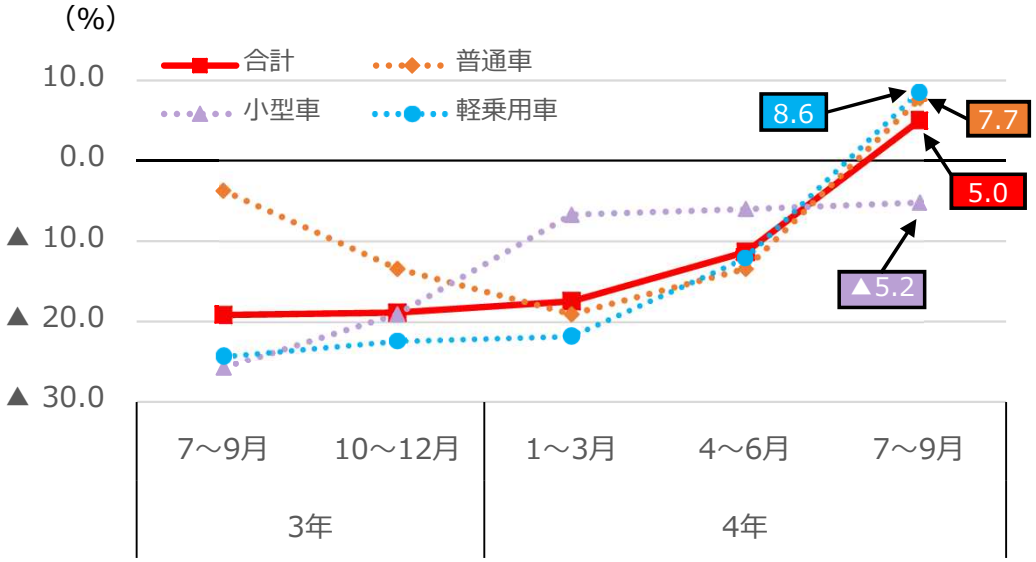
〔香川県の専門量販店販売額（前年同月比）〕

（注）全店舗ベース



【出所】四国経済産業局

〔香川県の乗用車新車登録・届出台数（前年同期比）〕



【出所】四国運輸局の公表データから算出

生産活動
持ち直しのテンポが緩やかになっている

（3期連続据え置き）

○汎用・生産用機械は、供給面での制約が緩和されたことから、緩やかに持ち直している。輸送機械は、一定量の受注残を維持しており、横ばいの状況にある。電気機械は、電子部品需要に弱い動きがみられることなどから、弱含んでいる。こうしたことから、全体としては持ち直しのテンポが緩やかになっている。

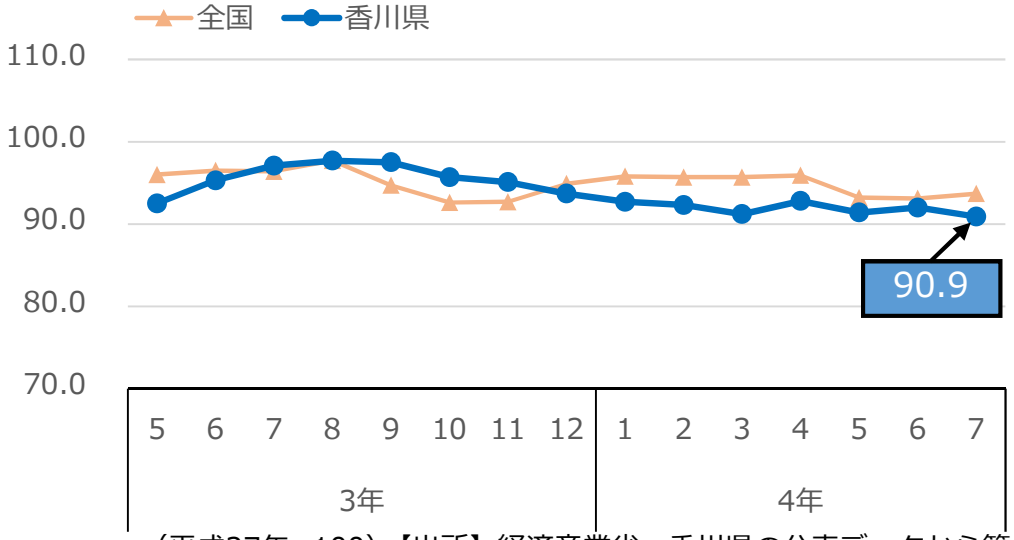
〔主なヒアリング結果〕

«汎用・生産用機械»
○上海ロックダウンによる部品供給不足の影響が緩和したため、生産量は増えている。

«輸送機械»
○新造船を発注しようとする動きがみられるが、原材料価格の上昇から受注環境は厳しくなっている。

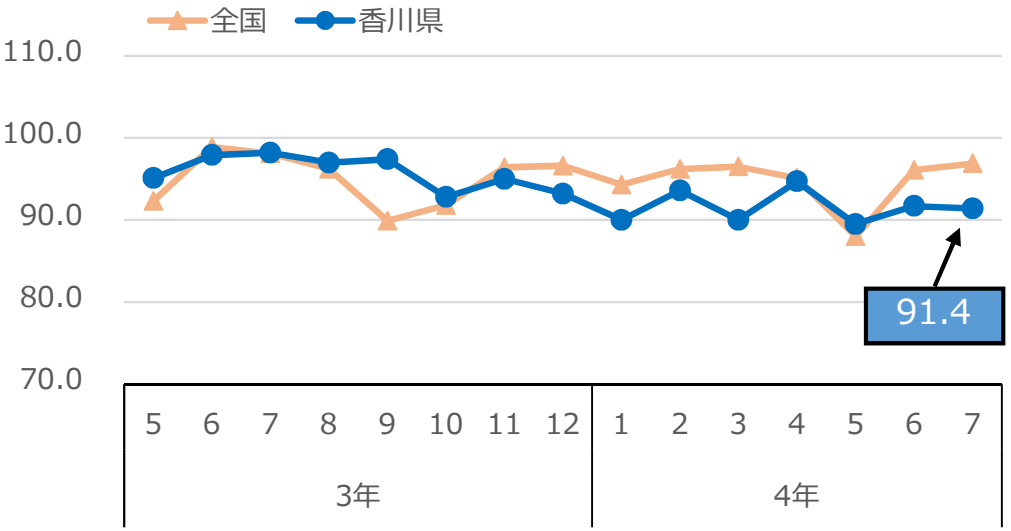
«電気機械»
○中国経済の減速により、スマートフォンや家電向け部品の生産量が減少している。

〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、3か月移動平均）〕



（平成27年=100）【出所】経済産業省、香川県の公表データから算出

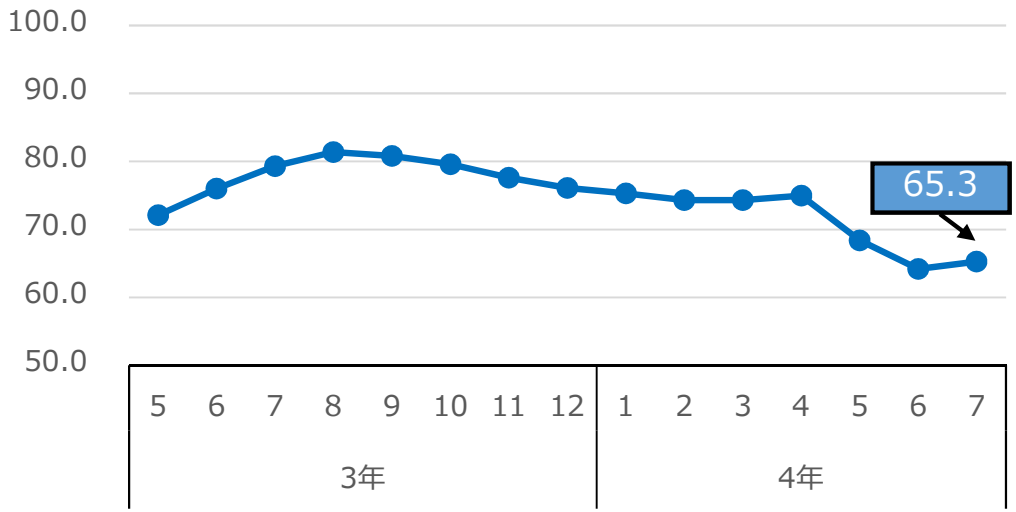
〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、単月）〕



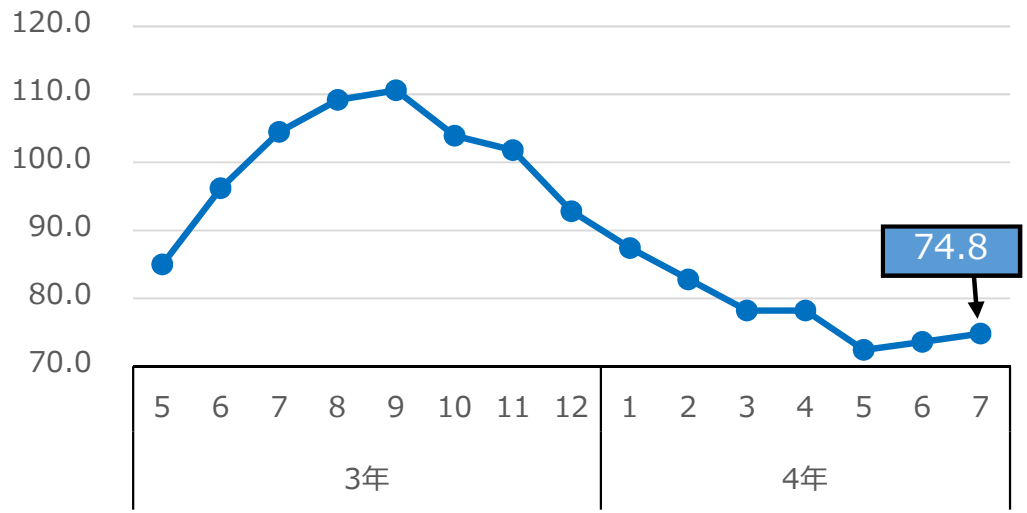
（平成27年=100）　【出所】経済産業省、香川県

生産活動

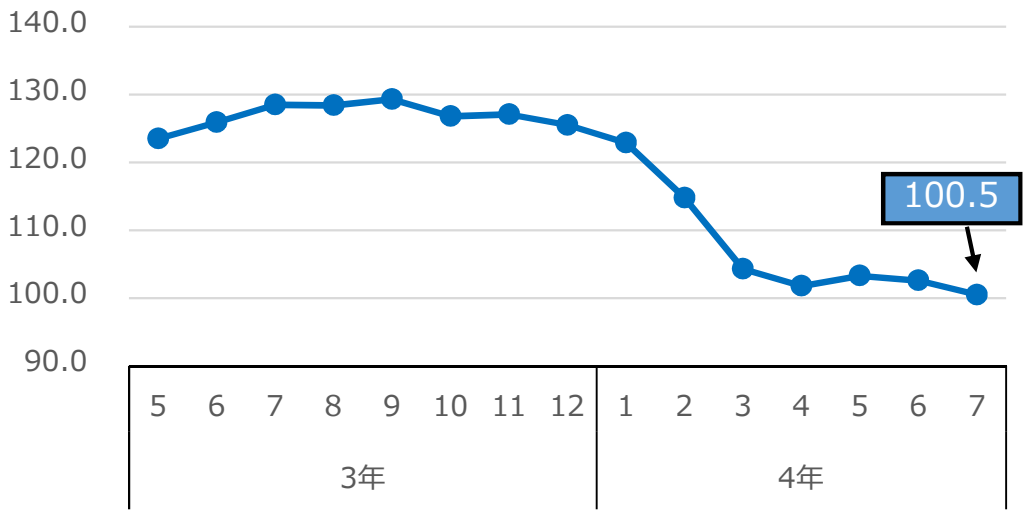
〔汎用・生産用機械〕



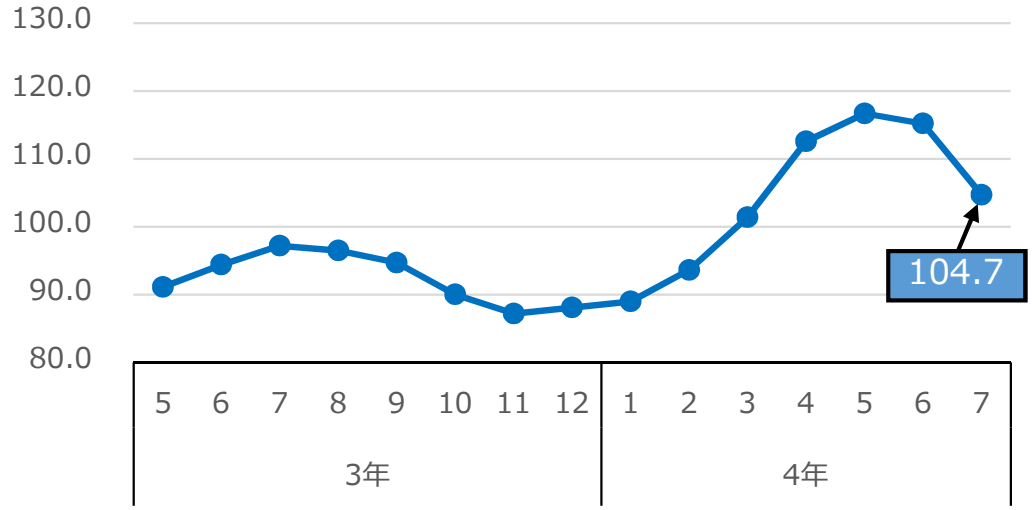
〔輸送機械〕



〔電気機械〕



〔非鉄金属〕



（季節調整済指数、3か月移動平均、平成27年=100）【出所】香川県の公表データから算出

雇用情勢

<u>雇用情勢</u>
緩やかに持ち直している

（2期ぶり上方修正）

○有効求人倍率は上昇している。

○新規求人数は前年を上回っている。

〔主なヒアリング結果〕

«労働局»
○イベントの開催を受けて、労働者派遣業などのサービス業で求人数が増加している。

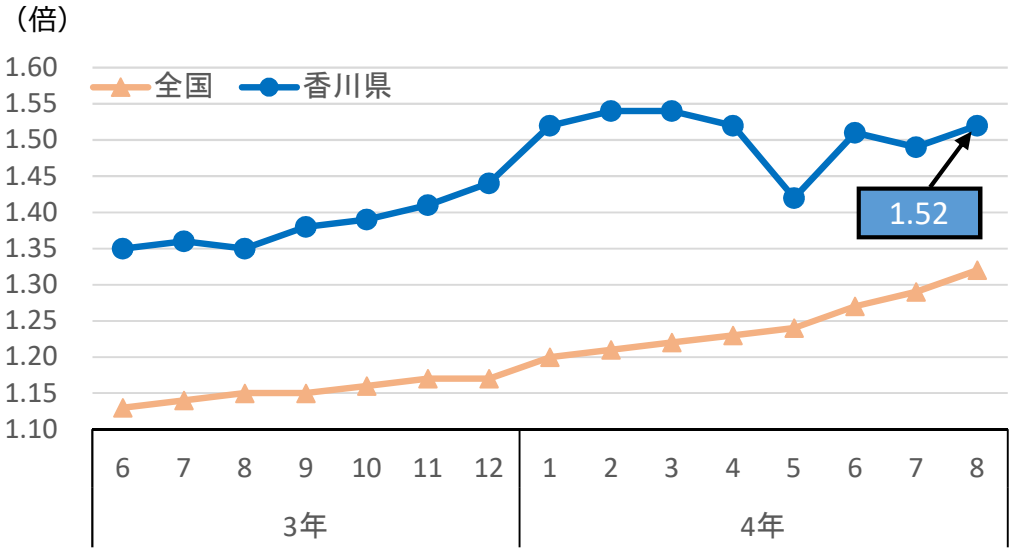
○スーパーマーケットなどの飲食料品を扱う小売業で求人数が増加している。

○雇用調整助成金の申請件数は減少傾向にある。

«宿泊業»
○客室の予約状況は好調で、主に接客部門で人手が不足している。

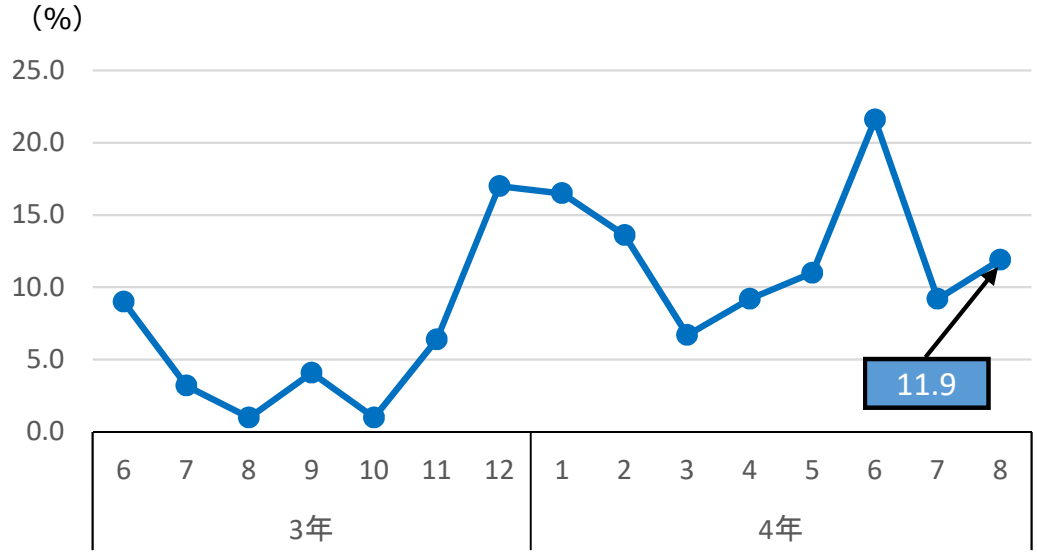
«飲食サービス業»
○来店客数が回復しつつあり、店舗で働くアルバイト社員が不足している。

〔有効求人倍率（季節調整値）〕



【出所】厚生労働省

〔香川県の新規求人数（原数値、前年同月比）〕



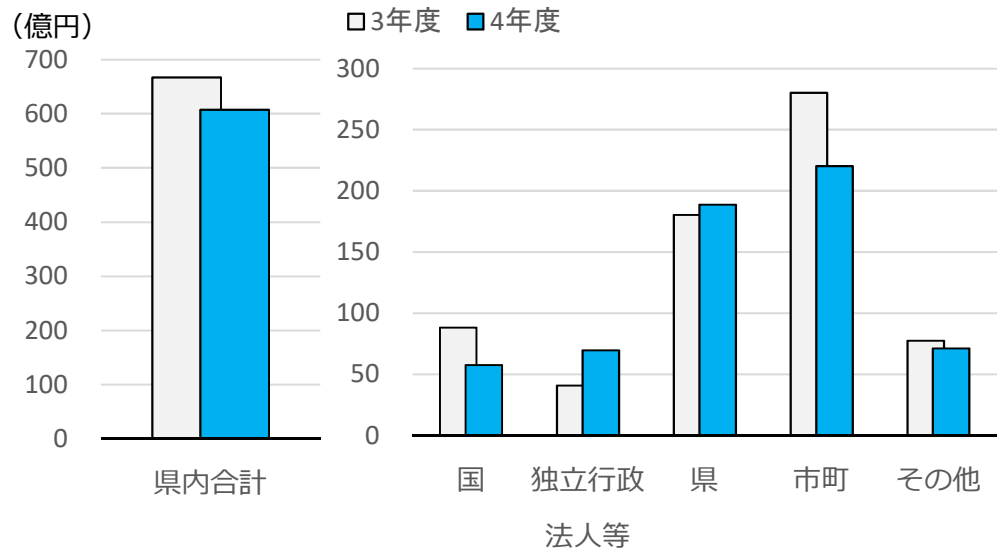
【出所】厚生労働省の公表データから算出

公共事業・住宅建設

公共事業
前年度を下回っている

○前払金保証請負金額でみると、独立行政法人等及び県は前年度を上回っているものの、国及び市町は前年度を下回っており、全体としても前年度を下回っている。

〔香川県の公共工事前払金保証請負金額（9月累計額）〕

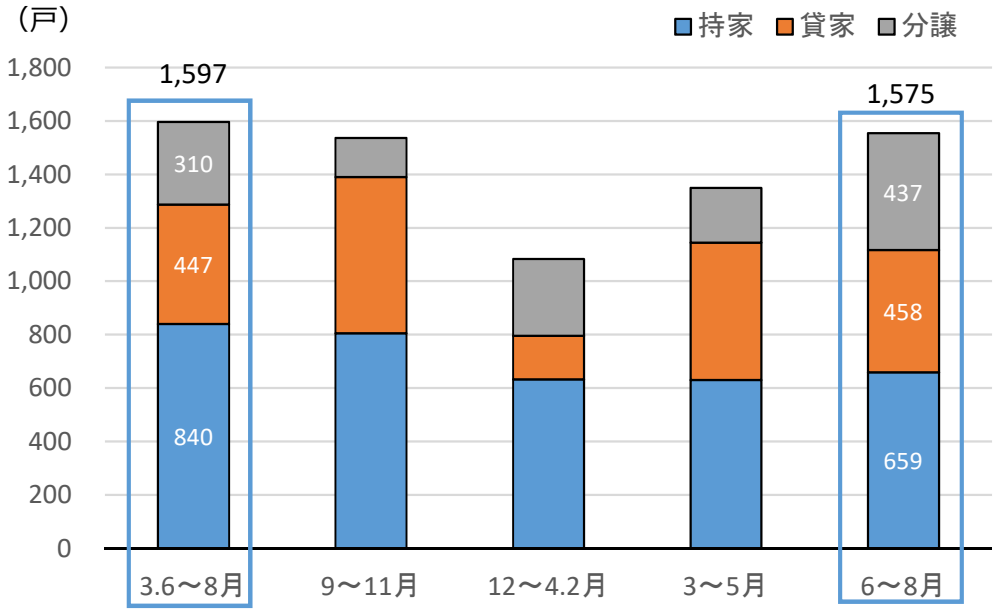


【出所】西日本建設業保証（株）等

住宅建設
前年を下回っている

○新設住宅着工戸数でみると、貸家及び分譲は前年を上回っているものの、持家は前年を下回っており、全体としても前年を下回っている。

〔香川県の新設住宅着工戸数〕



※合計は給与住宅を含む

【出所】国土交通省の公表データから算出

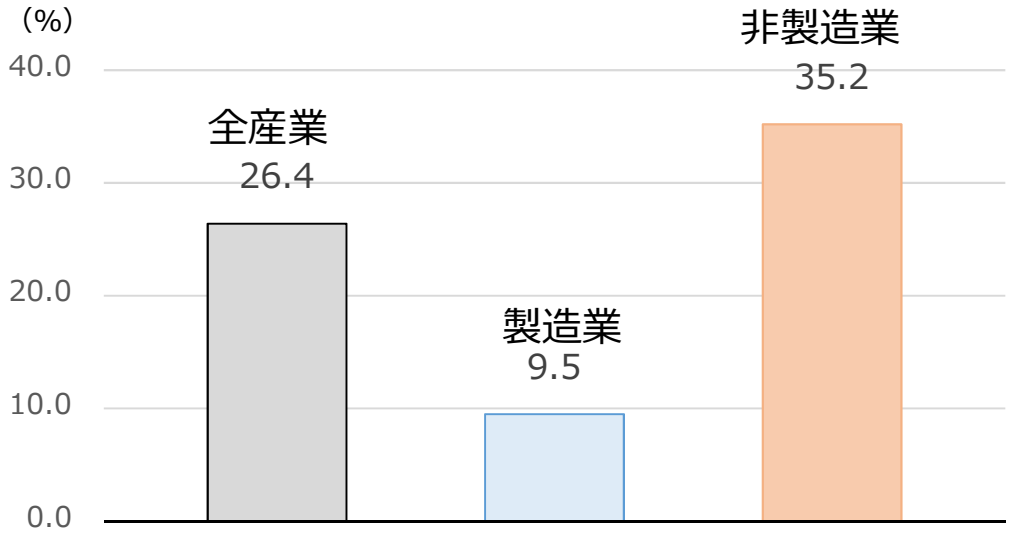
設備投資・（企業倒産）・（消費者物価）

設備投資
4年度は前年度を上回る見込み

（企業倒産）
件数、負債総額ともに前年を下回っている

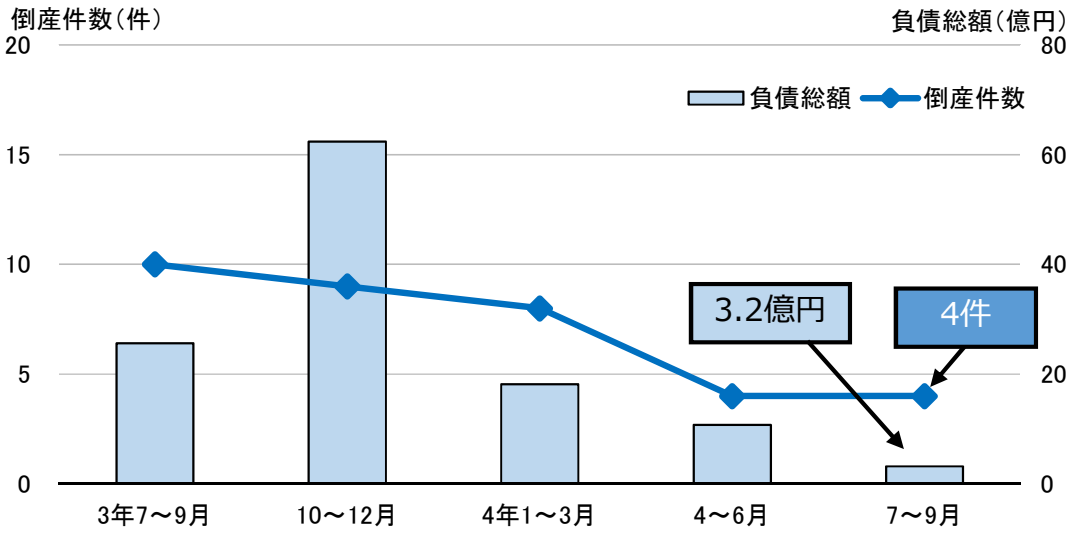
（消費者物価）
前年を上回っている

〔香川県の設備投資（前年度比）〕



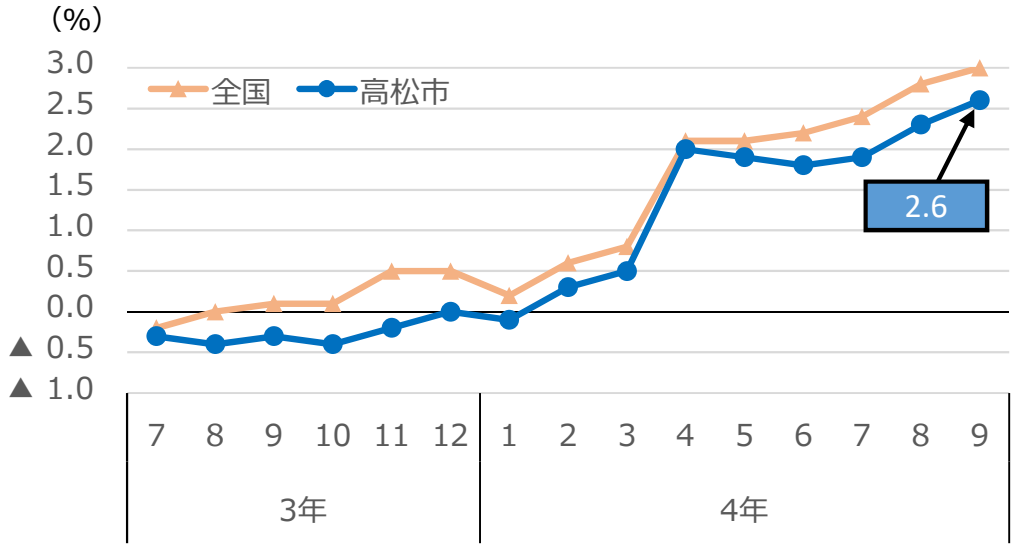
※4年7～9月期調査の結果
※ソフトウェア含む、土地除く
【出所】四国財務局（法人企業景気予測調査）

〔香川県の倒産件数・負債総額（負債額1,000万円以上）〕



【出所】東京商工リサーチの公表データから算出

〔消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、前年同月比）〕



（2020年=100）【出所】総務省

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。

■お問い合わせは
電話番号　087-811-7780
財務広報相談室（内線260）又は　経済調査課（内線250）へ

ホームページアドレス　https://lfb.mof.go.jp/shikoku/